観光に強い、理由（わけ）がある。

ビジネスプログラム
■観光・ホスピタリティ・エンターテイメントビジネス科目群
■流通・マーケティングビジネス科目群
■国際・金融ビジネス科目群
■ICT ビジネス科目群

マネジメントプログラム
■経営戦略・管理科目群
■会計・財務科目群
■経済・法律科目群
■情報・環境科目群

OPEN CAMPUS 2022 来学型＆オンライン型で開催！
【学群合同オープンキャンパス】7/24（日） 8/28（日）
【ビジネスマネジメント学群オープンキャンパス】8/6（土）※オンライン型 8/8（月）※来学型

桜美林大学
J. F. Oberlin University
桜美林大学入学部インフォメーションセンター
Tel：042-797-1583
Mail：info-ctr@obirin.ac.jp
Web：https://admissions.obirin.ac.jp/
リベラルアーツ学群　グローバル・コミュニケーション学群　ビジネスマネジメント学群　健康福祉学群　芸術文化学群　航空・マネジメント学群　教育探究科学群
※2023年4月開設予定（設置届出中）


## 桜美林大学

# 実践的教育に注力

桜美林大学は2019年4月に新宿キャンパスを開設。ビジネスマネジメント学群を東京・町田キャンパスから移転した。実践的教育を強化するため、学生が運営するカフェ、プレゼンテーションルーム、料理研究家による授業も行うキッチンといった施設をキャンパス内に設置。イベントの企画、開催などさまざまなオンキャンパス実習の場としても活用している。

プレゼンテーションルーム

ビジネスマネジメント学群は、「観光・ホスピタリティ・エンターテイメントビジネス科目群」などの科目群を持つビジネスマネジメント学類（BM）と、「エアライン・ビジネスコース」「エアライン・ホスピタリティコース」を持つアビエーションマネジメント学類（AM）の2学類で構成。1学年あたりの入学定員はBMが400人、AMが80人となっている。なかでも、観光・ホスピタリティ・エンターテイメントビジネス科目群はBMの半数にあたる200人の学生が学ぶ最も人気のコース。「旅行ビジネス」「ホテル・ブライダルビジネス」「レジャービジネス」「スポーツビジネス」の4領域で、さまざまな接客サービスに関する専門知識や管理技法、企画プロデュース力を実践的に身に付ける。

BMには多彩な業界で実務経験を積んだエキスパート教員が多数在籍。実際に仕事をする上での醍醐味（だいごみ）や大変さを、学生は講義やゼミの中でリアルにイメージすることができる。

コロナ禍で各大学がオンライン授業に移行したが、BMではいち早く21年新学期から原則的に対面授業に戻した。「観光業界ではコミュニケーションが大切。対面でしか学べないことがある」（渡邉教授）からだ。渡邉ゼミの学生の60％は旅行会社、ホテル、バス会社といった観光業界に就職していた。今年3月の卒業生は、旅行会社4人、ホテル2人とゼミ生の約3分の1が狭き門を突破して観光業界に進んだ。

渡邉教授

BMでは、学生の半数が2年次からゼミに参加する。渡邉ゼミでは地域振興に注力し、自治体等が学生向けに実施する観光コンテストへ積極的にエントリー。国土交通省「水の里の旅コンテスト2021」では「江戸に優り佐原にタイムトリップ」で「インバウンド賞」を受賞。また、北陸3県などで構成する北陸イメージアップ推進会議の「大学生観光まちづくりコンテスト2021」では「福井県賞」を、東京都多摩市とその周辺市で構成する多摩地域マイクロツーリズムプロジェクトのコンテストでは「多摩市賞」を受賞した。

「ゼミ活動の一環として外部との接点を持つことで、各ゼミ生に自信が生まれ、就職活動でも良い結果につながっている」（渡邉教授）。同ゼミでは卒業論文も必修化。観光に関する卒論を全員に書かせる。

## 神奈川大学

# 社会連携センターで観光推進

神奈川大学の前身は1928年創立の横浜学院。誕生から94年目を迎えた。

横浜はペリー上陸以来日本の表玄関であり貿易や文化交流の一大拠点。この地で、向学心のある若者に学修機会を提供したいと創設されたのが横浜学院だった。「教育は人を造るにあり」という創立者米田吉盛の思いは、いまも熱く受け継がれている。

神大（じんだい）の呼称で親しまれる同大は、大学に9学部、大学院に8研究科を有する全国有数規模の総合大学で、卒業生は約23万人。学校法人として、中高一貫校も擁する。現在、約2万人の学生が在籍している。

創立100周年に向けて教育、研究の新たな飛躍を目指す同大では、そのステップの一つとして、2020年4月に「国際日本学部」を新設した。同学部には「国際文化交流学科」「日本文化学科」「歴史民俗学科」の3学科を設置。世界はもちろん日本の歴史と文化の深い理解に根差した、世界の人々の多様で多彩な交流と人類の共生を図ることのできる魅力的なグローバル人材の養成を開始した。

21年4月には次のステップとして横浜みなとみらい地区に新キャンパスを開設。「国際・日本」の融合した未来「創造・交流」をコンセプトとする「みなとみらいキャンパス」には、横浜キャンパスから国際日本学部と外国語学部、湘南ひらつかキャンパスから経営学部が移転した。

神奈川大学では、これらのステップを新たな契機として、これまで以上に、異なる世界の文化や歴史、多元的な価値を理解し、いかなる地にあっても「世界的な」視点に立ち、この地球に住む良識ある市民として生きる、地域でも国際協力の場でも積極的に活躍できる人材の育成を目指している。

20年11月に完成したみなとみらいキャンパスは、その名の通り横浜の心臓部・みなとみらい21地区にそびえ立つ高さ約100メートル、地上21階建ての校舎で、グローバル系3学部に在籍する約5千人の学生が学んでいる。

◇　◇　◇

20年に新設され、21年に新キャンパスへ移転した国際日本学部は、国際文化交流学科、日本文化学科、歴史民俗学科の3学科で構成。同学部のキーワードは「文化交流―多文化共生―コミュニケーション」だ。開学の地、横浜のフィールドを存分に活用した学びを展開。みなとみらいエリアの博物館や美術館、劇場などの現場での実習やフィールドワークといった体験型学習を積極的に取り入れている。

国際文化交流学科は、2年次から「文化交流コース」「観光文化コース」「言語・メディアコース」「国際日本学コース」の4コースに分かれて専門的な学修を展開する。

◇　◇　◇

観光文化コースの島川崇教授と、みなとみらいキャンパス社会連携センターの市川洋行部次長に話を聞いた。

――国際日本学部国際文化交流学科の学生数、教員数は。

島川「学部として1学年あたり約300人、学科として同約170人。学科は2年次から4コースに分かれる。各コースの上限人数は60人に設定している。観光文化コースの教員は7人。3年次から始まるゼミでは、一つのゼミの学生数を15人以下に抑えて、目の行き届いた手厚い教育を行っている」

――島川先生は、JAL、韓国観光公社などでの実務経験があり、総合旅行業務取扱管理者、サービス介助士の資格もお持ちだ。日本国際観光学会の会長も務められた。

島川「他大の観光学部・学科では観光以外が専門の教員も教えている場合もあるが、本学の場合は7人の教員全員が観光の専門家であることが誇るべき特徴だ。コロナ禍中の昨年も『ザ・カハラ・ホテル&リゾート横浜』『ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル』『パシフィコ横浜』『旅工房』『トライアングル』などで本学独自のユニークな観光インターンシップを実施している。さらに、歩いて行ける距離に多くの高級ホテルが存在するという恵まれた立地を生かし、ホテル・旅館志望者を集めて『実践ホスピタリティ研究会』を立ち上げた。教員2名に加えて、卒業生で長年高級ホテルで総支配人を務められた末吉孝弘氏をアドバイザーにお迎えし、より実践的なプログラムを推進している。旅行業志望の学生に対しても、独自の産学連携プログラムを実践し、学生に生きた学びの機会を提供している」

――神大の観光研究・教育は「社会連携」がキーワードになっている。

市川「国際日本学部国際文化交流学科観光文化コースだけでなく、みなとみらい3学部（経営学部、外国語学部、国際日本学部）を中心として全学部の関係機関が結集して観光の諸問題に対応している。みなとみらいキャンパス開学と同時に『社会連携センター』を開設。観光ラウンジの運営、県内自治体・団体やキャンパス周辺企業との連携、在学生向け起業家育成事業、県内高校を中心とした協議会を組織する小中高大連携事業などを行っている」

市川「観光ラウンジでは、横浜を中心とした地域における文化、歴史、観光に関する情報を発信する機能に加え、旅行会社機能も併設している。PBL型の学修プログラムを展開し、ポストコロナを見据えて留学事業もサポートする。自治体・団体連携では、横浜市、鎌倉市、（公財）横浜観光コンベンションビューロー、（一社）横浜みなとみらい21、（一社）横浜港振興協会、横浜未来機構と包括連携協定などを締結した。資生堂の研究員と本学学生とのアイデア創出ワークショップ、富士フイルムビジネスイノベーションの個室型ワークブースを使った実証実験への学生の協力も実施。『観光』に関する環境、経済および社会的課題の解決に取り組む『観光プラットフォーム事業』も開始し、社会連携センターが中心となり神大全体で取り組んでいる」

――神大には神奈川県内から通う学生が多いのか。

島川「県内、近隣都県から通う学生はもちろん多いが、大学全体としては、40％の学生が自宅外通学者だ。神奈川大学では1933年から独自の奨学金制度を実施している。『給費生試験』の合格者には4年間で最大880万円の返還不要な奨学金を給付する。2022年度は7330人が同試験に挑戦した。この制度は単に経済援助を目的とするものではなく、広く全国から優秀な人材を募ることを目的としている」

ザ・カハラ・ホテル&リゾート横浜でのインターンシップ

島川教授（右）と市川部次長


神奈川大学 国際日本学部
国際文化交流学科
「観光文化コース」
文化交流コース　観光文化コース　言語・メディアコース　国際日本学コース
国際文化交流学科
世界へ、そして未来へ
KU 神奈川大学
【お問い合わせ】入試センター　神奈川県横浜市神奈川区六角橋 3-27-1
☎ 045-481-5857

神奈川大学
みなとみらいキャンパス
「観光ラウンジ」
2021年 横浜 みなとみらいに 新キャンパスOPEN!
18,000人が学ぶ文・理9学部の総合大学
横浜キャンパス：法学部・経済学部・人間科学部・工学部・建築学部
湘南ひらつかキャンパス：理学部※
みなとみらいキャンパス：経営学部・外国語学部・国際日本学部
※：2023年4月、理学部は横浜キャンパスに移転予定
社会連携センター